



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 ショーボンドホールディングス株式会社
 コード番号 1414 URL <https://www.sho-bondhd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 関口 恭裕 TEL 03-6892-7101
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 配当支払開始予定日 2023年3月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	38,421	△3.0	8,139	△5.1	8,288	△4.3	5,748	△5.3
2022年6月期第2四半期	39,622	△0.9	8,574	11.7	8,656	8.2	6,067	10.9

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 5,719百万円 (△9.2%) 2022年6月期第2四半期 6,298百万円 (9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	108.17	—
2022年6月期第2四半期	112.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	111,762	94,144	84.2
2022年6月期	117,423	94,247	80.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 94,067百万円 2022年6月期 94,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	50.00	—	68.00	118.00
2023年6月期	—	52.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	68.00	120.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,200	4.9	17,800	3.1	18,300	3.6	12,700	2.7	239.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	56,745,180株	2022年6月期	56,745,180株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	3,871,990株	2022年6月期	3,503,192株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	53,138,904株	2022年6月期2Q	53,718,650株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトにて同日に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年7月1日～2022年12月31日)における当社グループの連結業績につきましては、受注高は、国、地方自治体からの受注は増加しましたが、第1四半期に引き続き第2四半期も高速道路会社からの大型工事の受注が大幅に減少したことにより、前年同期比16,108百万円減少(30.4%減)の36,845百万円となりました。

売上高は、前年同期比1,200百万円減少(3.0%減)の38,421百万円となりました。

完成工事高は、長期大型工事の施工が順調な高速道路会社の売上高が増加し、国、地方自治体の売上高が減少した結果、前年同期比で減少しました。

一方、工事材料売上高は、伸縮装置や無機系工事材料等の売上増加により前年同期比で増加しました。

受注残高は、受注高が売上高を下回ったことにより前期末から1,576百万円減少、前年同期比では35百万円減少(0.0%減)の78,725百万円となりましたが、依然として高水準を維持しております。

利益につきましては、売上高の減少により売上総利益が減少し、営業利益は前年同期比435百万円減少(5.1%減)の8,139百万円となりました。売上総利益は前年同期比で減少しましたが、売上総利益率は27.3%と前年同期(27.6%)とほぼ同水準を維持しております。経常利益は前年同期比368百万円減少(4.3%減)の8,288百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比319百万円減少(5.3%減)の5,748百万円となりました。

各セグメントにおける、受注実績、売上実績、及び受注残高は次のとおりです。(各実績は外部顧客に対するものを記載しています。)

受注実績

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
国内建設	51,335	35,009 (△31.8%)
その他	1,617	1,835 (13.5%)
合計	52,953	36,845 (△30.4%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

売上実績

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
国内建設	38,004	36,586 (△3.7%)
その他	1,617	1,835 (13.5%)
合計	39,622	38,421 (△3.0%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

受注残高

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結会計期間末 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2022年12月31日)
国内建設	78,761	78,725 (△0.0%)
その他	—	— (—%)
合計	78,761	78,725 (△0.0%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より5,661百万円減少し、111,762百万円となりました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が増加した一方で、有価証券及び投資有価証券が減少したためです。

負債は、前連結会計年度末より5,558百万円減少し、17,617百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等、電子記録債務といった仕入債務、及び未払法人税等が減少したためです。

純資産は、前連結会計年度末より103百万円減少し、94,144百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、自己株式の取得を行ったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期通期の連結業績予想につきましては、2022年8月10日の決算発表時に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	15,023	14,627
受取手形・完成工事未収入金等	50,760	57,706
電子記録債権	1,196	1,256
有価証券	14,999	6,099
未成工事支出金	26	56
その他の棚卸資産	1,156	1,182
その他	3,152	2,012
貸倒引当金	△19	△19
流動資産合計	86,297	82,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,150	4,331
機械装置及び運搬具（純額）	230	240
工具、器具及び備品（純額）	262	284
土地	9,228	9,098
リース資産（純額）	49	46
建設仮勘定	664	540
有形固定資産合計	14,585	14,541
無形固定資産		
のれん	426	377
その他	278	248
無形固定資産合計	704	625
投資その他の資産		
投資有価証券	12,101	11,104
退職給付に係る資産	757	790
繰延税金資産	306	372
土地再評価に係る繰延税金資産	709	668
その他	1,976	754
貸倒引当金	△15	△17
投資その他の資産合計	15,835	13,671
固定資産合計	31,126	28,838
資産合計	117,423	111,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,374	5,869
電子記録債務	4,456	3,740
未払法人税等	3,720	2,474
未成工事受入金	943	672
賞与引当金	—	832
役員賞与引当金	399	—
完成工事補償引当金	257	231
工事損失引当金	66	66
その他	5,244	2,059
流動負債合計	21,463	15,946
固定負債		
繰延税金負債	33	—
完成工事補償引当金	346	341
役員退職慰労引当金	24	19
退職給付に係る負債	1,223	1,226
その他	83	83
固定負債合計	1,712	1,671
負債合計	23,176	17,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	34,762	34,762
利益剰余金	59,162	61,199
自己株式	△5,514	△7,716
株主資本合計	93,410	93,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,417	2,387
土地再評価差額金	△1,606	△1,515
為替換算調整勘定	35	34
退職給付に係る調整累計額	△102	△83
その他の包括利益累計額合計	743	822
非支配株主持分	93	76
純資産合計	94,247	94,144
負債純資産合計	117,423	111,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	39,622	38,421
売上原価	28,674	27,925
売上総利益	10,948	10,495
販売費及び一般管理費	2,373	2,356
営業利益	8,574	8,139
営業外収益		
受取利息	15	10
受取配当金	76	79
受取保険金	4	54
受取賃貸料	21	15
持分法による投資利益	0	—
その他	30	25
営業外収益合計	149	185
営業外費用		
支払手数料	13	14
賃貸費用	7	5
事故関連損失	39	—
持分法による投資損失	—	10
その他	6	5
営業外費用合計	67	36
経常利益	8,656	8,288
特別利益		
固定資産売却益	86	1
投資有価証券売却益	—	114
受取損害賠償金	116	—
特別利益合計	202	115
特別損失		
固定資産除却損	0	0
完成工事修補費用	53	—
投資有価証券売却損	—	1
その他	4	—
特別損失合計	58	1
税金等調整前四半期純利益	8,800	8,401
法人税、住民税及び事業税	3,275	2,727
法人税等調整額	△530	△55
法人税等合計	2,745	2,672
四半期純利益	6,055	5,729
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,067	5,748

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	6,055	5,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217	△30
為替換算調整勘定	7	△4
退職給付に係る調整額	18	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	4
その他の包括利益合計	243	△10
四半期包括利益	6,298	5,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,311	5,735
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,800	8,401
減価償却費	257	304
のれん償却額	49	49
固定資産売却損益 (△は益)	△86	△1
固定資産除却損	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△0	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△113
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,767	832
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△397	△399
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△29	△32
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	3
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△41	△30
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	41	0
受取利息及び受取配当金	△92	△90
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,583	△7,009
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△69	△30
その他の棚卸資産の増減額 (△は増加)	△114	△58
その他の資産の増減額 (△は増加)	△133	102
仕入債務の増減額 (△は減少)	129	△1,245
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	84	△271
その他の負債の増減額 (△は減少)	△648	△2,668
その他	△123	△66
小計	△1,193	△2,309
利息及び配当金の受取額	98	94
法人税等の支払額	△2,238	△1,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,333	△3,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△5,999	△5,999
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	8,199	7,959
有形固定資産の取得による支出	△775	△848
有形固定資産の売却による収入	593	175
その他	△159	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,858	1,230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△10	△15
配当金の支払額	△3,519	△3,616
自己株式の取得による支出	△1,833	△2,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,363	△5,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,835	△8,396
現金及び現金同等物の期首残高	23,012	27,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,177	18,627

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年8月10日に開催された取締役会の決議に基づき、当第2四半期連結累計期間に当社普通株368,300株を2,199百万円で取得しました。当該自己株式の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,202百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の「自己株式」は7,716百万円となりました。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（四半期連結損益計算書に関する注記）

（事故関連損失）

前第2四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）

当社子会社のショーボンド建設株式会社が施工する東名高速道路の橋梁補修工事で、2019年11月に発生した火災事故に伴う損失見込額のうち、当第2四半期連結累計期間に発生した損失額39百万円を営業外費用に計上しております。

（受取損害賠償金）

前第2四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）

当社の子会社であるショーボンド建設株式会社が提起しておりました、溶接不良にかかる損害賠償請求訴訟において和解が成立したことによる和解金116百万円を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	38,004	1,617	39,622	—	39,622
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	1,335	1,337	△1,337	—
計	38,007	2,953	40,960	△1,337	39,622
セグメント利益	8,128	436	8,565	9	8,574

(注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、国内外製品販売業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

セグメント利益の調整額9百万円には、セグメント間取引消去156百万円、セグメントに配分していない
全社費用△147百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、グループ全体の経営
管理に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	36,586	1,835	38,421	—	38,421
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,124	1,124	△1,124	—
計	36,586	2,959	39,545	△1,124	38,421
セグメント利益	7,598	506	8,104	34	8,139

(注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、国内外製品販売業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

セグメント利益の調整額34百万円には、セグメント間取引消去209百万円、セグメントに配分していない
全社費用△174百万円及びその他の調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、グループ全体の経営
管理に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。